

1. 診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	入力箇所
① 診療科名	血液内科
② 診療科の特徴	同種移植、企業治験などいろいろな症例が経験できる。
③ 診療科のモットー	患者さんによりそった治療を行う。
④ 診療内容・実績 （2023年7月時点）	外来は毎日3診あり、外来化学療法や輸血治療も行っている。造血幹細胞移植は年間20例程度。先進的な治療から支持療法単独まで、患者さんに合わせた治療を行います。
⑤ 診療体制 （2024年6月時点）	血液内科指導医6名、日本造血免疫細胞療法学会認定医4名、日本輸血細胞治療学会認定医2名など。
⑥ 診療科カンファレンス	週1回の診療科カンファレンス、病棟移植患者カンファレンス、がんリハビリ患者カンファレンス
⑦ 経験できる疾患	血液疾患全般
⑧ 経験できる技術・技能	造血幹細胞移植や造血幹細胞採取も経験できる
⑨ 学会について	日本血液学会、日本造血免疫細胞療法学会、日本輸血細胞治療学会の認定施設
⑩ その他	いろいろな症例を経験でき、研修病院としては最適な病院と考えています。新薬の治験や、臨床研究についても学び、経験することができます。

2. 指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

企業治験、臨床研究、造血幹細胞移植といった先進的な治療から、地域にお住いの高齢患者さんへの対応など、幅広い症例を経験でき、研修病院としては理想的であると思います。また、研究センターが併設されているため、意欲があれば自ら臨床研究を計画することや、実験研究を行うこともできます。

名古屋医療センター血液内科専攻医募集！

名古屋は昔から血液内科の盛んな地として全国的に有名ですが、当院は全国の国立病院機構の病院の中で、血液内科のリーダー的病院として位置づけられています。

当院の特色は、血液内科領域におけるさまざまな症例を経験できることです。白血病やリンパ腫などの血液悪性腫瘍に対しては、JALSG やJCOG といった多施設共同研究グループに参加し、プロトコールによる治療を行っています。適応のある患者さんには造血幹細胞移植を行います。当院は、日本骨髄バンクの移植認定病院であり、また骨髄・末梢血幹細胞採取の認定病院でもあります。日本造血・免疫細胞療法学会の移植認定施設のカテゴリー1に分類される名古屋市内にある4病院の1つです。年間10例以上の同種造血幹細胞移植を行っています。

当院は、名古屋市のやや北部に位置する総合病院であるため、時代と地域を反映して高齢の患者さんも多く受診されます。さまざまな合併症をもった高齢の患者さんの診療を行うには、他科と連携した全身管理が必要であり、歯科口腔外科も含めた総合病院であることが強みです。一方、年齢のために支持療法のみで対応しなければならない場合もありますが、このような症例は大学病院ではほとんど経験できないと思います。いろいろな社会背景をもった患者さんを担当することは、医師として成長する良い経験となるとと思います。がん専門病院ではないので、血小板減少や貧血、凝固異常症など、悪性腫瘍以外の血液疾患症例も豊富です。

当院では新薬の治験も多く行っています。臨床研究支援室、治験コーディネーターのサポートを受けていますので、医師個人の作業負担は少なく、積極的に治験に参加することができます。また、自ら臨床研究を計画する場合にも、その立案や事務作業などに対して支援してもらえます。治験や臨床研究に参加することで、医学の発展に寄与することができます。内科専攻医の先生には、基本的に主治医となって患者さんを診ていただきます。必ず上級医とペアになって担当していただきますので、相談しながら診療を行っていくことができます。当院は、日本血液学会血液専門医認定研修病院であり、日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設であり、日本造血・免疫細胞療法学会移植認定施設であるため、当院での経験は、血液内科専門医、輸血・細胞治療学会認定医、造血・免疫細胞療法学会認定医の資格申請に使用することができます。

まだまだ難治性疾患の多い血液内科領域ですが、病と闘う患者さんのために、共に働いてくれる若い先生をお待ちしています。